

「オバケーション」

特定非営利活動法人クリエイティブスマイル（東京都）

☼ ねらい・目的

社会環境の変化によって遊びが減少し、創造的な能力を育てにくくなった子どもたちに対して、子どものアイデア（文字、写真、イラストなど）をキャラクターにすることで、子どもの想像力を形にし、社会で広く活躍させようというプロジェクト（資料1）。

子どもの想像力を養い、大人は子どもの発想を見直すキッカケとなる。

☼ 内容

子どもが考えた自由なアイデアを元にしてるので、個性的で背景のあるキャラクターが誕生する。Webサイト（次頁 資料2）の運営や、企業、区、大学と連携したワークショップの開催などを中心に展開。

東京工芸大学の研究室で2000年にスタートし、公開キャラクター作品数はすでに612体（2009年10月時点）を超えている。中野区を中心に産学共同で町興しをテーマに参加型ワークショップ

（次頁 資料3）を行うなど、リアルな活動も進めている。「コミュニケーション」と「子どもの想像力」がキーワード。

☼ 実践結果（今後の課題）

Webサイトの運営やイベント実施なども全てボランティアベースで行っている。

口コミを中心に、ユーザー数は増え続けているが、より多くの子どもたちへ、アプローチするためには、なにかメインコンテンツ（絵本、児童文学、アニメ、ゲームなど）を制作する必要がある。

さらにホームページのリニューアルや定期的なイベント実施を行える環境を、資金面・人材面でも整えることが課題となっている。

☼ PR（特徴・工夫・努力した点など）

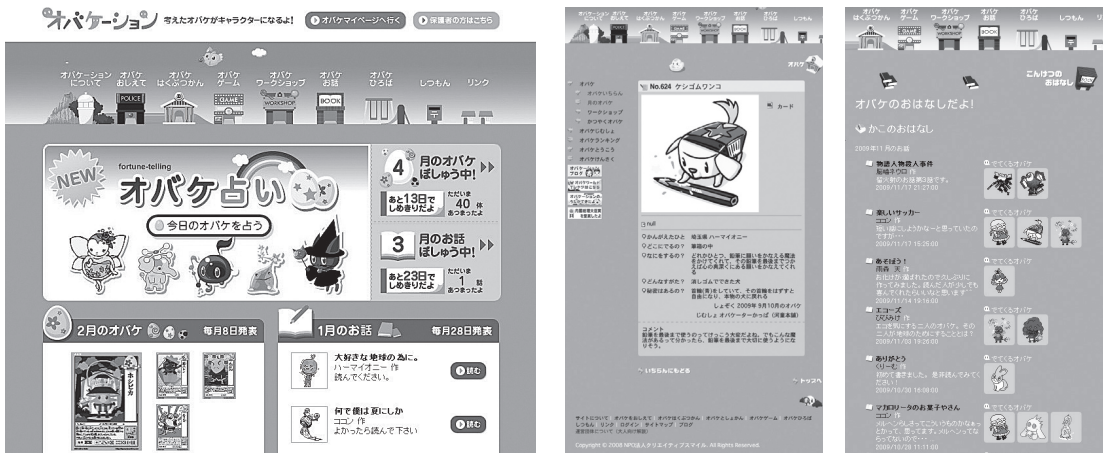
2008年にはキャラクター図鑑の出版を行った。現在は活動資金を集めるためにキャラクターグッズ、キャラクターライセンスなどの展開準備を進めている。

資料1・子どものアイデアから生まれたオバケたち



資料2・オバケーションWEBサイトの運営

- 毎月8日に、子どもたちのアイデアを元にして、キャラクターデザイナーやデザイン科の大学生が制作したオバケキャラクターを公開。
- 毎月オバケが公開されると、アイデアを投稿してくれた子から感想や喜びの声が届く。また、いろいろな子どもたちから、そのオバケの活躍する「お話」が投稿される。



資料3・ワークショップ 中野区川島商店街～発見！オバケ探検団

- 子どもたちが商店街のお店を巡り、オバケっぽい物を、デジタルカメラで撮影。写真や、お店で聞いたお話からオバケを想像して絵を描く。面白いアイデアはキャラクターにしてお店にプレゼント。



備考（実践の参考となる公開中のHPアドレス、写真、資料等）

オバケーション公式サイト <http://japan.obacation.com>

公式ブログワークショップの様子を写真紹介 <http://obaktion.jugem.jp/?eid=266>

NPOの目的や大人向けの解説 <http://www.t-kougei.ac.jp/obakeworld/about/admin.html>